

東雲

熊谷東中学校だより 第11号
平成30年1月 30日

学校教育目標

優しさのある生徒
志高く自ら学び考える生徒
たくましく生きる生徒

大人が手本となって

3減運動

- テレビ視聴時間
- ゲーム時間
- 携帯電話時間

笑顔 志 本気を合言葉に生徒が自分と自分の学校に誇りを
持って卒業することができる学校をつくる

熊谷市立熊谷東中学校長 原口 政明

老婆心

今年も順調にスタートを切ることができました。3年生の私立高校の入試結果も極めて順調です。合唱、書きぞめ展、美術展でも好成績をあげました。少しずつインフルエンザにかかる生徒が増えてきていますが、生徒たちは元気に学校生活を送っています。

今回は、『安岡正篤ここに書き写す言葉』（三笠書房）という本を読んでいた、本校の取り組みそのものだった一節を紹介させていただきます。

老婆心（うるさがられるほど「思いやる」）

才智・技能に勝る、それだけでは人間として失格である。人に真心を尽くす、うるさがられるほど思いやるということが大切で、老婆心は人に対してだけではなく、学問の場合でも、これぐらいにしておこうというのが一番いけない。これでもまだ足りないと、つまり老婆心がなければ進歩はないのである。

この文章を読んで、まず思いついたのは、1年生の学校を休む生徒の少なさです。これだけ大きな学校ですが、1年生は、一人も欠席する生徒のいない日が何日もあります。子どもが欠席するのは、親はもちろん心配です。おじいさん、おばあさんも心配で仕方ありません。学校に登校するのは当たり前ですが、ちょっとしたことで学校を休んだだけで、お年寄りには心配で心配で仕方ありません。私も、祖父母からは、うるさがられるほど心配させて育ちました。

1年生の欠席が少ないのは、先生方もうるさがられるほど生徒たちを心配し、思いやっている成果だと思っています。生徒が学校を休めば、朝のうちに親と連絡を取り、欠席が続くようであれば家庭訪問をさせていただき、生徒たちにうるさがられるほど寄り添っています。このまま、3年間、欠席ゼロの日が多くあることを願っています。これからも、全学年で、先生方はうるさがられるほど生徒たちを心配し、思いやっていきます。老婆心を大切にしていきたいと思います。

もうひとつ思いついたことを紹介します。新体力テストの最終結果集計が戻ってきました。熊谷市トップレベルの好成績です。この新体力テストは、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走 50m 走、立ち幅とび、ボール投げの8項目を1年から3年男女別に測定します。ですから、全部で48の測定項目数となります。この48項目の内、なんと42項目が県平均を上回っています。これは、普段の体育の授業や部活動で、徹底してトレーニングを積んできた成果だと思っています。本校では、普段から「これでもまだ足りない」と、とことんトレーニングに励んでいます。これも老婆心の成果だと思っています。

子どもを伸ばしていくには、「老婆心」が大切だと思います。本校は、ご家庭と手を取り合って「老婆心」を発揮していきます。

1/27 めめま駅伝大会より 生徒、職員参加



中学男子のスタート



力走する今成先生



ゴールする校長先生

12/19(火)生徒朝会(保健委員)より



12/19(火)久喜市教育委員会・校長会による視察



12/19(火)人権教室より



英語ラウンド制の視察

熊谷市人権教育推進協議会会長の田島初男先生を講師に迎えて、後期人権旬間の一貫のひとつとして、「人権教室」を実施しました。

1/10(水)平成30年度入学新入生保護者説明会より



ネットアドバイザーの
田邊晶子氏の講演

原口校長による
学校紹介

塩原教諭による
説明

1/10 現在	来年度入学予定者
・成田小	44 名
・星宮小	10 名
・久下小	47 名
・佐谷田小	42 名
・熊谷東小	6 名
・中条小	3 名
・市田小	1 名
・長井小	1 名
・熊谷西小	1 名
計	155 名

生徒も先生方もがんばっています！

熊谷市学習指導研究協議会数学部発表より



1/17(水) 2-2で本間教諭による数学の授業公開

先生方も研修会



高田教諭による美術の
研究授業



飯塚教諭による家庭科
の研究授業



中村教諭による理科
の研究授業



小島教諭による社会
の研究授業



小久保教諭の社会の研究授業



小澤教諭の東雲の研究授業



布施教諭の理科の研究授業



小池教諭の理科の研究授業